

公益社団法人愛知県医師会 第5回(定例)理事会議事録

開催日時：平成28年5月19日(木) 午後2時30分～午後4時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一 城 義政 加藤雅通

大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子

瀨瀨雅明 細川秀一 森 孝生 城 卓志 野田正治

監事／岩瀬敬紀 可世木成明

欠席者

監事／榊原一基

議事録作成者 加藤結花

※伊藤理事早退の為、報告事項11～報告事項13については、報告事項の初めに行った。

※日本医師会山本續子理事は午後3時30分来館のため、報告事項1は、報告事項15の後に行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事15名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①平成28年度愛知県農薬危害防止運動に対する協賛について

②名古屋市港区医師会(会長 今村修治)主催のAED(BLS)講習会〔8/20(土)〕の共催について

市川理事より説明され、1-(1)-①～②について一括承認を求め、承認された。

- (2) 一般社団法人愛知県老人保健施設協会理事候補者の推薦について
市川理事より説明され、本会の野田理事を推薦することが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo.1~2の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	6/7(火)	愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7階情報センター	城(義)理事 細川理事
2	7/23(土) 8/20(土)	母体保護法指定医師講習会	9階大講堂	伊藤(富)理事 西山理事

3. 公益社団法人愛知県医師会医療事務員講習会規則の変更について

樫尾理事より説明され、規則の変更が承認された。

4. 平成28年度公費による妊婦・乳児健康診査の契約について

伊藤(富)理事より説明され、名古屋市・豊橋市を除く県内52市町村と、引き続き広域化契約を結ぶことが承認された。

また、産後健診については実施されていない市町村もあると説明された。

5. 環境衛生委員会委員の変更について

瀬瀬理事より説明され、西三河南部西医療圏選出の杉浦勇人先生(碧南市医師会)から小町昭彦先生(碧南市医師会)への変更が承認された。

—協議事項—

6. 顧問について

柵木会長より説明され、中村道太郎先生、妹尾淑郎先生へ本会定款第62条4項により、次期会長の任期期間の顧問を依頼することが承認された。また、本会定款第62条第2項により、第177回(定例)代議員会に上程することが併せて承認された。

8. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会報告〔4/19(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

山本(續)日本医師会理事より、5月17日開催の理事打合せ 1.「臨床研究法案について」 2.「日医かかりつけ医機能研修制度における応用研修への対応について」 3.「内視鏡検診・健診の実態アンケートについて」 4.「その他」が報告された。

1.については、虚偽等の報告が見受けられることから、5月13日(金)に閣議決定され、法制化することとなったと説明された。企業からの献金を受けていないものについては、従来基準遵守の努力義務であったが、法案に含まれることとなり、いわゆる治験は臨床研究法案によりコントロールされることとなったと説明された。

2.については、日医主導で行われているが、都道府県で開催する場合も日医のシラバスに則っての開催しか認められておらず、都道府県での開催が困難である。今後、日医でチェック後の自由裁量のテキストを使用し、都道府県主体で開催できないかという要請であったが、厳格な研修が望まれるので、日医のシラバスに沿って行っていただきたいという見解であったと説明された。

また、基本的には県単位で行うが、異動のあった場合は、両県合意の上でなら認めることができると説明された。

3.については、がん検診を内視鏡検診として認めるかの是非を問うアンケートであったと説明された。

2. 日医第9回医業税制検討委員会〔5/13(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、平成28年度税制改正大綱に明記された「平成29年度税制改正に際し、総合的に検討し、結論を得る」に従って、日医内に「医療機関等の消費税問題に関する検討」が立ちあげられ、医業税制検討委員会の答申を基本案として検討し、厚労省から基本案に対する懸念が示されたと報告され、医業承継税制については経過措置型である持ち分ありの法人に対する優遇税制は認められないという厚労省からの見解が示されたと説明された。

【本会関係会議について】

3. 第2回愛知県医師会選挙管理委員会〔5/12(木)〕について

(5階医師連盟会議室)

市川理事より、役員等選挙の立候補届出書類、候補者一覧表(事前送付用)、候補者名簿(当日配付用)の確認がなされ、委員長によるくじ引きにより立候補者の記載順序が決定されたと報告された。また、投票に関する事項及び当日の集合時間等の確認が行われたと説明された。

柵木会長より、5月21日(土)開催の第176回(臨時)代議員会終了後、執行部を代表して挨拶するが、役員については、6月18日(土)第177回(定例)代議員会で披露することとなるので、今回は出席する必要はないと発言された。

4. 学校保健部会幹事会〔5/10(火)〕について

(6階研修室)

吉田理事より、協議事項では、第47回全国学校保健・学校医大会の「分科会」における研究発表の演題募集について検討し、平成28年度学校医・園医報酬実態調査について例年通り調査することの了承を頂いたと説明された。また、今年より健診内容に大幅な変更が生じたため、稲坂幹事より、本部会幹事を対象として、学校での生徒・児童の健診に関するアンケート調査を実施したいと提案があり、承認されたと説明された。

5. 広報委員会〔5/11(水)〕について

(501会議室)

吉田理事より、愛知医報(6/1号)以降のトップ掲載予定や表紙掲載写真等について確認、検討したと説明された。併せて「会員の欄」への投稿原稿の掲載可否についても検討し、掲載することとしたと報告された。

6. 医師会史編集委員会〔5/11(水)〕について

(501会議室)

吉田理事より、70周年記念誌の構成内容や装丁等について検討し、第6巻を踏襲することとしたと報告され、配付対象についても、前回同様、A会員には電子媒体及び希望者には紙媒体を、B・C会員には電子媒体のみを配付することとしたと説明された。また、執筆分担については、一部内容の手直しがあつたと説明された。

7. 救急医療情報センターにおけるゴールデンウィーク期間中の案内状況について

城(義)理事より、今年度、期間中の総受信件数は6,633件で、昨年度に比べ1,546件減少し、1日の平均件数も829件で、昨年度に比べ80件減少したと報告された。これは、期間日数が昨年度より1日少ない8日間であることや、5月2日が平日のため、長期連休にならなかったことが要因と思われる。なお、インターネットの利用状況も同様に、合計が5,255件で、昨年度に比べて1,228件減少したと報告された。

8. 母体保護法指定医師審査委員会〔5/11(水)〕について

(801会議室)

伊藤(富)理事より、母体保護法指定医師審査対象者について審査を行い、承認されたと報告された。また、母体保護法指定医師講習会参加証の交付対象講習会に

についても協議し、承認されたと説明された。

9. 在宅医療サポートセンター連絡協議会／実務者協議会 [5/13(金)] について (9 階大講堂)

野田理事より、サポートセンター事業 Web サイトの公開情報、今年度の事業実施計画や H27 年度事業実績に伴う精算手続きなどの事務連絡がなされたと報告された。また、担当理事より「今年度の課題と取り組み」と題した講演があり、在宅医療推進上の問題点や要因に対する分析手法、平成 30 年度を見据えた各自治体との積極的な補完関係構築の必要性を説明された。

10. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1～3 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。また、No. 3 の参加者対象について質問され、森理事より、医師が対象であると説明された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	5/12(木) 5/13(金)	産業医研修会	117 名 16 名	西山理事 市川理事
2	5/14(土)	愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)講演会(第 1 回)	400 名	加藤理事 大輪理事
3	*5/14(土)	日医生涯教育協力講座セミナー 認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～	348 名	森理事 城(義)理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 1. 平成 28 年度健康推進学校書類審査会 [5/11(水)] について (愛知県教育委員会主催：東大手庁舎)

伊藤副会長より、7 月 13(水)日開催の総合審査を最後に、愛知県学校保健会会長の辞任することとなると報告された。以後、県医師会副会長かつ学校保健部会会長が、学校保健会会長に就任することを昨日決定したと報告された。

1 2. 支払基金幹事会 [5/11(水)] について (支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、被災状況、業務処理の対応、審査委員会の対応、再審査返戻の取扱い、協議結果等について資料に沿って説明された。また、審査の取扱いに関する一定の見解についての詳細は、配付資料に目を通していただきたいと説明された。

1 3. 平成 28 年度第 1 回愛知県医療審議会医療法人許認可部会 [5/13(金)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

伊藤副会長より、資料に沿って説明された。

1 4. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第 2 回運営委員会 [5/11(水)]
について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

城(義)理事より、平成 28 年度の理事人事案を承認し 6 月 11 日(土)の総会にて決定の予定であると報告された。愛知県医療健保組合の健康保険料率は 9.60%で協会けんぽより 0.37%低く、介護保険料率は 1.415%で協会けんぽより 0.165%低くなったと説明された。また、愛知県医療健康保健組合の進捗状況については、4 月 30 日に設立調査票を提出し、6 月 1 日(水)より運用が開始される予定である。現在、加入事業所は 41 法人、43 事業所、被保険者 15,580 人であり、事務局は、職員 9 人、理事 10 人、議員 22 人で構成されていると説明された。

柵木会長より、愛知県医療健康保健組合の設立の経緯、NPO との関わり、医師会との関わり等を、次回、話題提供で取り上げていただくよう依頼された。

1 5. 平成 28 年度第 1 回尾張北部地域産業保健センター運営協議会 [5/11(水)] について

(尾張北部地域産業保健センター主催：尾北医師会館)

西山理事より、平成 27 年度事業実績について、26 年度に比べ職場訪問が増加したと説明された。江南、犬山、大口・扶桑、岩倉の地区については、センターと自治体、基準監督署等との連携が効率よく行われ、目標値を常にクリアーされているが、メンタルヘルス相談については年間目標 10 回であったが、今年度は皆無であり、残念な結果となったと説明された。今後、メンタル不調者への相談を増やす目標をたて、50 名以下の事業所においてもメンタル不調の気づきを促し、医師会主導で行っていき、更に産業保健部会を活用すると説明された。また、平成 28 年度事業計画については、27 年度と同様であると報告された。

1 6. 平成 28 年度第 1 回愛知産業保健総合支援センター運営協議会 [5/16(月)] について

(愛知産業保健総合支援センター主催：愛知産業保健総合支援センター)

西山理事より、平成 27 年度事業実績について、事業所訪問指導を増加させ、年間目標は愛知県全体 750 件かつ相談の 40%以上であるが、289 件 28%に過ぎないと説明された。平成 28 年度事業運営については、治療と職業生活の両立支援対策の普及促進が新規最重点事項とし、初年度はがん患者対策を予定していると説明された。その他、医師会として事業運営につき、産業保健部会等で検討し積極的に係る方針を伝えたと説明された。

17. 愛知県広域予防接種事業ワーキング会議(第1回) [5/16(月)] について

(愛知県主催：5階医師連盟会議室)

瀨瀬理事より、10月より定期接種となるB型肝炎ワクチンの広域化のため、運営要領の改正について検討したと報告され、定期接種期間から接種者が外れないようにするため、市町村にて住民への事前の周知及び、連絡票を9月から発行出来る体制とし、了承されたと説明された。また、B型肝炎定期接種について、来年4月以降の市町村が行う行政措置(救済処置)を本事業の枠組みで対応できるかについて市町WTにて検討することとなったと報告された。

18. 第1回愛知県障害者施策審議会 [5/12(木)] について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

野田理事より、「手話言語その他の意思疎通のための手段の普及に関する条例」について議論されたと報告され、手話言語条例は鳥取県を始め6県、市町村は41市町村に制定されているが愛知県内にはないと説明された。また、手話に加え要約筆記、点字等に対象を広げたものは全国で3市あるが、都道府県では条例制定は未だなく、今後、特に被災時の情報伝達や手話通訳者などの帯同・配置が必要で、これらについての理念条例を制定することとなったと説明された。さらに、ワーキンググループを設置し検討することになったと説明された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

19. 名古屋医療センター 地域医療支援病院運営委員会 [5/11(水)] について

(名古屋医療センター主催：名古屋医療センター)

大輪理事より、病床利用率は年間平均79.9%で前年度より増加、平均在院日数は年間平均14.1日で前年度より減少、紹介/逆紹介率は年間平均76.3%/82.7%で、前年度と比べて紹介率は減少、逆紹介率は増加したと報告された。また、平成27年度の新規の退院援助について報告があったが、転院先の内訳を見ると、地域包括ケア病棟の利用はまだ3.9%と低く、在宅医療支援サポートセンターの利用や、地域包括ケア病棟の方向性について協議が行われたと説明された。

20. 平成28年度第1回名古屋掖済会病院地域医療支援病院運営委員会 [5/12(木)] について

(名古屋掖済会病院主催：名古屋掖済会病院)

加藤理事より、紹介率と逆紹介率：(平成28年1月～3月)紹介率52.8%、逆紹介率82.4%、共同利用の実績、救急医療の実績、研修の実施状況について報告された。

21. 名古屋第一赤十字病院第39回地域医療支援病院運営委員会 [5/12(木)] について

(名古屋第一赤十字病院主催：名古屋第一赤十字病院)

細川理事より、平成 27 年度の実績の 紹介と逆紹介(件数・率)について、共同利用の実績について、講演会・研修会・検討会実績につて、救急医療の実績について報告された。

【その他事項について】

2 2. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成28年5月19日